

# 愛媛県材を活用した 介護（健康）用品等の開発で新市場開拓

支援機関：八幡浜商工会議所

支援内容：経営力の向上支援

支援区分：経営革新

## 有限会社 松本木工所



### 【企業概要】

社名：有限会社 松本木工所  
代表者：代表取締役 松本 宏治  
業種：建具製造業  
所在地：八幡浜市大平1番耕地644番地1  
資本金：22,000,000円  
設立：昭和27年  
従業員：4名

Information

### ● 当社設立の背景、動機

昭和27年、八幡浜市大平に「すべての商品を職人による手作り」をコンセプトに創業し、工務店の下請けとして建具の製造販売を八幡浜市中心に事業を展開してきた。創業当初より地産地消としてすべての商品に宇和松（ひのき）を使用した木製建具を製造販売し、ベテラン技術者による仕事の丁寧さと品質の良さで評判も良く、全てがオリジナル商品として県外からの受注もあり、順調に売上げが推移してきた。しかし、近年の住宅着工件数の著しい減少で受注の大半を占めていた工務店からの受注が大きく減少してきた。経費節減や経営効率を推し進め、生き残りを図ろうとするが既存事業だけでは限界があ

る。

そこで、下請企業の脱却と新規事業の開拓を目指すこととし、高齢化社会の到来にむけた高齢者介護の必要性と介護器具の需要が増加するものと予想されたことや、これまでの建具製作で培ってきた技術を介護器具の製造に有効活用できること、そして県内には介護器具を製造販売している事業者数が少ないこともあり、介護器具の製造販売に進出することとした。木材の癒しと安全性を活かして、高齢者の方や身体の不自由な方への一人ひとりの生活に合ったオーダーメイドの介護福祉用具を製造し、安心安全な生活環境を提供していきたいと考えている。

## ● 事業概要

県産材である桧を利用したオーダーメイド介護器具の製造販売である。地元の介護用品販売業者やケアマネージャーおよび介護施設等と連携しながら、試作品の開発と各種展示会の出品を計画している。販売方法としては、ホームページによるネット販売を中心に展開していく。主な提供商品としては、移動式の玄関スロープや手作り歩行器などを想定している。



### 【主な事業内容】

#### ● 県産材である桧を利用した木製介護器具の製造販売

高齢者の方や身体の不自由な方の身体機能に応じたオーダーメイドの介護福祉用品を製造し、高齢者等の行動範囲を広げ、安全性の向上により利用者の負担のみでなく家族の負担を軽くし、楽しく安全な生活環境を提供する。具体的には、建具製造過程で発生する宇和桧の端材木材等も使用し、高齢者等の症状に合わせた介護用品をリーズナブルな価格で提供する。



〈技術のこだわり〉

機械だけではどうしても行き届かない部分を手作業で行うためには、熟練した職人の高い技術は必須条件である。



〈素材のこだわり〉

元来から桧は、耐久性に優れた銘柄材として高い評価を受けている。また、桧には独特の香りと光沢があり、保存性が高く、特に心材は耐朽性に優れている。まな板や弁当箱の材料として使われることから、殺菌力がある木材であることでも有名である。

## ■ 拠点の具体的な支援内容

### 1. 経営革新申請へのサポート

保内町商工会の経営革新塾に参加された後、商工会のフォローにより事業主から継続的な支援の相談を受け、商工会を通じて八幡浜商工会議所に経営支援の依頼があった。経営革新塾の中で、介護用品の新規商品開発をテーマに取り組んでいたが、その後の具体的な取り組みはできていない状況であった。

#### 【主な検討課題】

- 当事業についての介護用品のニーズ調査を行い、どのような商品が介護現場で必要とされているか確認する。その場合の調査対象者や協力者のリストアップを行う。
- ニーズ調査、試作品開発、販売先開拓などの事業スケジュールを立案する。
- 事業の売上・利益目標、キャッシュフローと資金計画を明確にする。
- 販促手段とその時期などについて明確にする。
- その他、必要な調査や費用を検討する。

以上の検討課題を解決するとともに経営革新計画を申請した結果、平成21年8月に経営革新計画に係る承認を受けることができた。

### 2. 各種施策等への支援

上記経営革新申請の承認が、ある経済誌に掲載されたことがきっかけで、その記事を見た発明協会の特許流通アドバイザーから連絡があり、特許取得済みの木製腰椎矯正装置の試作品製作の依頼をうけ、試行錯誤を繰り返しながら県産材を利用した試作品が本年1月に完成した。この新商品に対して国・県等の支援策を利用していくこととなった。そのための申請につき、今後フォローアップしていく予定である。

商品説明（特許番号 4256016）

#### ① 今後の利用可能性等について

医療機器や健康機器として利用できるよう、また、毎日短時間（数分程度）の利用で改善できるよう実証・実験していく予定である。



検討の様子



矯正装置試作品

② 目的・効果

台の上に仰向けに寝るため、自分の体重が解放された状態で効果的な矯正ができる。

● 拠点を利用した事業者の声

経営革新の承認を受ける前までは我社は木製建具の製造・販売を行ってききましたが、近年の売上げ減少傾向に歯止めをかけるべく対策を模索中に保内町商工会主催による「経営革新セミナー」に参加しました。その際、セミナー講師の方から“自社の強みを活かした「木製介護器具」の製作をしてみてもどうか”との提案をいただき、地元の木材を使って地元の雇用を維持して多くの方々のお役に立つことができれば企業として最もふさわしい事業への取組みだと意を強く感じました。

現在、発明協会から依頼をうけて腰痛の治療器を開発中です。西村コーディネーター様はじめ色々な

方々からのご助言を頂きながら、この事業での企業再生を目指していきたいと思えます。



代表取締役 松本 宏治

Staff voice 支援に携わったスタッフの声

いつも笑顔の絶えない社長です。しかし景気低迷で長引く不景気の中、ここ数年売上げおよび利益ともに減少していることに危機感を抱いていました。そこで、何か建具以外のもので、これまでの技術を活かした新商品はないかを常に模索してきた社長でありました。

今回の経営革新の申請について記載内容等を幾度となく修正・加筆などを依頼しましたが、翌日にはできている状況であり、この新規事業にかかる意気込みが感じられました。

これからはその事業計画を実行していくことに

なりますが、社長の固い信念と迅速な行動で必ず計画を達成できるものと期待しています。



応援コーディネーター  
西村 修造